

平成 29 年 10 月 15 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 東海大学付属静岡翔洋高等学校 品川杏彩
2. 講師氏名: Frederic R. DESCHOENMAEKER
3. 同行者氏名: 野亦 次郎
4. 実施日時: 平成 29 年 10 月 14 日 (土) 10:25 ~ 11:40
5. 参加生徒: 1 年生 37 人、 2 年生 34 人、 3 年生 0 人 (合計 71 人)
備考: 土曜授業理科選択者
6. 講演題目: シアノバクテリアのチオレドキシシン経路の生理生化学的解析
7. 講演概要: 母国(ベルギー)について、シアノバクテリアの誕生、シアノバクテリアについて疑問に思った点、研究に至った経緯、現代におけるシアノバクテリアの利用方法
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 15 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演・光学顕微鏡観察・クロレラ試飲
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート・スライドへの日本語の補足
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
重要語句及び要旨をプリントにしたもの
10. その他特筆すべき事項: 非常に丁寧に生徒の反応をみながら対応して頂きました。スライドに日本語を加えるなど、生徒の理解が深まるよう工夫して頂きました。さらに、光学顕微鏡でのシアノバクテリア観察やクロレラを試飲するためのジュースを作ってきてくれ、非常に時間をかけた準備をしてくださり、感謝しています。ありがとうございました。